

科目名 世界地誌
Title World Topography
科目区分 教科に関する科目

担当教員 大島 登志彦 (オオシマ トシヒコ)
担当教員との連絡方法

E-Mail

配当年次 1
単位区分 要件外
単位数
開講時期 前期

目的

地球及び世界全体の幾つかの事象と概要を学ぶことを通して、世界地誌的素養を身につけさせる。また、学生各自の興味ある国または海外旅行のツアーに関するレポートをまとめさせることによって、諸外国の事情や海外旅行に関わる問題点を把握させる。さらにその内容を発表させることを通して、資料作成とレポートを再考して指導できるスキルを養うことを目的とする。なお、「専門地域調査士」に認定(2012年、日本地理学会)され、その資格との関連で学習・実践した地理調査の基礎、各種地図や世界各国の地理的素養を、授業に反映させている。

達成目標

地球の運動や世界全体の概要、地形や気候の現状と特徴を、人々の生活と関連させて学習する。また、上記したレポート課題を通して、海外に興味関心を示し、調査する資質を身に着ける。また、受講者全員の発表を通して、世界各地の地誌の事例学習をするとともに、発表のための資料作成と能力を効果的に身につける。

スケジュール

- 第1回 当授業の概要説明と地理歴史科目の教職課程
- 第2回 地理学の概念と地誌学の概要
- 第3回 世界の地域区分と各地域の特性と諸問題
- 第4回 世界の国々や海外旅行ツアーの調査方法とレポート課題の指示
- 第5回 地球のあらましと時間
- 第6回 地形・国家と領域
- 第7回 世界の気候区分と気候地域
- 第8回 日本と世界の関係
- 第9回 海外旅行に関わる地理的諸問題
- 第10回 レポートの提出とその講評、発表の指示
- 第11回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (1)
- 第12回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (2)
- 第13回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (3)
- 第14回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (4)
- 第15回 本授業の総括と定期試験の指示

教科書・参考文献

- 教科書 地図帳を各自持参：高校の地理の授業で使った地図帳
授業の概要や要点：毎回プリントを配布します。
- 参考書 必要に応じて、その都度指示します。

授業外での学習

学期内に数枚配布する地名や用語などの穴埋め作業プリントを地図帳などを参照して完成させる。
フィールド調査を行って、課題のレポートを完成させる。

評価方法

受講態度重視 (25%程度)、レポートの提出とその内容の発表 (25%程度)
学期末に筆記試験を行う (期末試験50%程度)

履修上の注意

予備知識・要望：中学校での地理学習を理解していることを前提として授業を進める。また、高校で地理を履修していることが好ましい。資格への対応：地理・地誌に関する試験や検定を受けたり自主的な旅行をした学生には、その成果を評価します。(旅行業務管理者、旅行地理検定、地図地理検定、各種の通称ご当地検定など地理・地誌に多少関わる資格や検定各種)

科目名 日本地誌
Title Japan Topography
科目区分 教科に関する科目

担当教員 担当教員との連絡方法
教授 大島 登志彦 (オオシマ トシヒコ)

E-Mail

配当年次 1 単位区分 要件外 単位数 開講時期 後期

目的

日本及び身近な群馬県の歴史や概要を学んだうえで、現在の日本における地方都市の問題や環境問題などを考察させる。また、身近な地域の地理・歴史的文化遺産の調査をレポート課題として、各自で文化遺産をみつけて現地をさせ、目で見て確認させる習慣を身につけさせる。さらにその内容を発表させることを通して、資料作成とレポートを再考して指導できるスキルを養うことなどを目的とする。なお、「国内旅行業務取扱主任者」(現在の資格名は管理者)試験に合格し、「専門地域調査士」に認定(2012年、日本地理学会)されている。その資格との関連で学習・実践した日本国内各地の地理・歴史的特徴や地名事情、フィールド調査の見聞などを、授業に取り入れている。

達成目標

日本全国と群馬県のおおまかな地誌を理解する。都道府県レベルの地域区分や各地域の概要、郷土に関する地誌の教養を学び、歴史地理の指導的要素を高め、この課題のレポートを課す。また、上記したレポート課題を通して、各自の身近な地域を再認識して、調査する資質を身に着ける。また、受講者全員の発表を通して、日本全国各地の地誌や遺産を事例学習するとともに、発表のための資料作成と能力を効果的に高める。

スケジュール

- 第1回 授業の概要説明
- 第2回 日本の地誌の概要と課題
- 第3回 日本の地形と地域区分の歴史の変遷
- 第4回 日本の文化遺産の概要とレポート課題の指示
- 第5回 群馬県の概要と地域区分
- 第6回 上毛かるたとその地理的意義
- 第7回 地図の基本と読み方
- 第8回 温暖化と最近の日本の気候
- 第9回 自然災害と地震・原発事故の考察
- 第10回 日本の市町村や地名に関する考察
- 第11回 レポートの提出とその講評、発表の指示
- 第12回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (1)
- 第13回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (2)
- 第14回 レポートの内容をもとにした学生の発表と講評 (3)
- 第15回 本授業の総括と定期試験の指示

教科書・参考文献

- 教科書 地図帳を各自持参：高校の地理の授業で使った地図帳
授業の概要や要点：毎回プリントを配布します。
- 参考書 必要に応じて、その都度指示します。

授業外での学習

学期内に数枚配布する地名や用語などの穴埋め作業プリントを地図帳などを参照して完成させる。
身近な地域のフィールド調査を行って、課題のレポートを完成させる。

評価方法

受講態度重視 (25%程度)、レポートの提出とその内容の発表 (25%程度)
学期末に筆記試験を行う (期末試験50%程度)

履修上の注意

予備知識・要望:中学校での地理学習を理解していることを前提として授業を進める。また、高校で地理を履修していることが好ましい。資格への対応:地理・地誌に関係した試験や検定を受け自主的な旅行をした学生にはその成果を評価します。(旅行業務取扱管理者、旅行地理検定、地図地理検定、高崎学検定等通称ご当地検定など地理・地誌に関わる資格や検定各種)